

廃家電や粗大ごみなど、廃棄物の処分に「無許可」の回収業者を利用しないでください!

市の許可や委託を受けずに、ご家庭のごみを業者が収集・運搬することは認められていません。無許可業者による回収・扱取りが確認されており、不法投棄や不適正処理が問題になっています。もし、引き渡した業者が悪い業者だった場合…

不用品、無料で回収しますよ!
有料になるものもありますが、**要相談です!**※

※高額な処理料金を請求される事例もあります

金になるもの以外は処分費もかかるし
山の中に捨ててしまえ!

※もともとの排出者の責任にもなりえます



なんていうことも…

廃家電や粗大ごみなどの廃棄物は、市が案内しているルールで処分をお願いします。

市が不燃系ごみ(容器包装プラスチック・ペットボトル・不燃ごみ・粗大ごみ)の通常収集を委託しているのは下記の3社で、収集車両の車体に社名が入っています。

株式会社 大芳 / 高井商店 株式会社 / 株式会社 南京都清掃社

「木津川のゴミをできる限りゼロに近づけてキープしよう」

出前授業
レポート



提案発表の様子

これは木津小学校の4年生が掲げた目標です。環境課では市内小中学校へ環境学習の出前授業を実施しています。同校では今年度1学期から継続して木津川やその支流のごみ調査、川遊び体験、マイクロ・プラスチック問題などの学習を行い、12月にはこの目標を達成するために地域で何が出来るかを提案する授業がありました。

児童たちが注目したのはプラスチックごみ。プラごみを減らすための方法をグループに分かれて考え、

- お祭りの容器をすべて紙容器に変える
- レジ袋削減のため、スーパーにエコバッグツリーを設置して貸し出す
- プラスチック製容器にデポジット制を取り入れる

などの提案がありました。また、他学年にも知ってもらうため各教室に貼ってもらうポスターも作成されました。

令和7年度(令和7年12月時点)は、市内小学校8校、中学校2校(計93クラス)でゴミ減量、地球温暖化防止、SDGs等のテーマで出前授業を行いました。

出前授業を通じて木津川市のごみ減量について真摯に取り組んでくれている姿が印象的でした。

マシンガンズ滝沢さん講演会を開催しました

令和7年11月8日(土)、お笑い芸人でありながら清掃業に従事し、ごみ問題を全国に発信しているマシンガンズ滝沢秀一さんをお迎えし、「ごみの未来について考える」をテーマに講演会を開催しました。

講演では、清掃の現場で感じる人々の思いや社会の課題、そして「ごみ」を通して見える地域の姿について、ユーモアを交えながら語っていただき、会場は笑いと共感に包まれました。



講演後には、市長、市内の不燃物収集業者(3社)、環境課の職員による対談の場も設けられ、「分別の現状」「ごみ減量への課題」「市民と行政・事業者の協働」などについて意見交換が行われました。

現場の声と行政の考えが直接交わる貴重な機会となり、改めてごみについて考えるきっかけになったことと思います。

今回の講演と対談を通じて、ごみの問題は一人ひとりの暮らしとつながっていることを再認識する時間となりました。市では今後も、環境への意識を高める取り組みを進めてまいります。

このベンチ、見た？ すわった？

形が悪かったり、細すぎて使いにくいせいで、本当なら使われずに燃やされてしまう木材や伐採木・枝から作られた「リサイクル素材」でできたベンチ。もちろん、木津川市の木材も利用して作られました。

この、ごみを減らしながら、まだ使える木をむだにしない、地球にやさしいベンチは実際に2025年大阪・関西万博でも使用され、万博閉会後も廃棄せず、協賛自治体等に引き渡されました。木津川市では、ごみ袋有料化により設置された基金を活用して購入し、市内小中学校および市役所本庁舎に配置しています。

※市役所本庁舎では、1階住民活動スペースにあります。



令和7年4月～令和7年11月までの一日1人あたりの可燃ごみ排出量は、平均すると**381.2g**。
前年同時期(**389.6g**)と比べて、**8.4g**減少しました。

【令和8年2月発行】

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民環境部 環境課
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便り」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」・「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。